

## 「平和をねがう子どもピースメッセージコンクール作品展」

- 会期 平成 26 年（2014 年）11 月 1 日～平成 27 年（2015 年）1 月 31 日
- 展示場所 滋賀県平和祈念館 2 階 ギャラリー
- 開催趣旨

次世代を担う子どもたちが、戦争と平和をテーマにした絵を描くことにより、戦争の悲惨さや平和の尊さを考えるきっかけとするとともに、子どもたちが描く絵画を通して、広く県民に平和への思いを伝えることを目的としてコンクールを実施した。優秀作品 6 作品を含む応募のあったすべての作品を展示した。



ピースメッセージコンクール作品展

## 「東大津高等学校書道部作品展」

- 会期 平成 27 年（2015 年）1 月 16 日～3 月 15 日
- 展示場所 滋賀県平和祈念館 1 階 エントランス
- 開催趣旨

平成 26 年（2014 年）11 月に同校で出前授業を実施したことがきっかけで実現したもので、出前授業で学んだことを受けて、書道部の生徒のみなさんが平和への願いを「書」にして表現してくれた作品を展示した。



東大津高等学校書道部作品展

## 「子ども学習成果展」

○会期 平成 26 年（2014 年）6 月 28 日～10 月 31 日

平成 27 年（2015 年）2 月 1 日～

○展示場所 滋賀県平和祈念館 2 階 ギャラリー

○開催趣旨

来館学習や出前学習で学習したことや各学校で行われた平和学習の成果物、実践事例などを展示した。



子ども学習成果展

## 2 資料収集保存事業

### (1) 戦争体験聞き取り調査

戦争体験者の方の高齢化が進む中、一人でも多くの方の体験を記録として残すことが急務となっている。当館では、戦争当時滋賀県にお住まいだった方、あるいは滋賀県にご縁のあった方を対象に、調査員2名を配置して戦争当時の話の聞き取り調査を行った。平成26年度は120名から体験談を聞き取りした。

～平成26年度戦争体験聞き取り調査事例～

日野町にあった中部第三百三十六部隊地区防衛隊に入隊

古道 由男さん（88才）＝日野町＝

古道由男さんは、満洲にあこがれ、尋常高等小学校の高等科2年を卒業し、満蒙開拓青少年義勇軍に入ろうと願書を出しました。しかし、お兄さんの説得を受けてやめることとなります。由男さんは、お父さんを手伝って農業をしていましたが、その当時義務になっていた青年学校に週2回は行かねばなりませんでした。そして、お兄さんは昭和18年（1943年）1月現役入隊しますが、4月には部隊がフィリピンに移動していきます。

昭和20年（1945年）5月、満18歳になった由男さんは徴兵年齢が下げられていたため、臨時教育召集を受け、伏見の連隊に入隊します。当時、入隊は極秘に行うように言われていましたので、役場の吏員と共にひっそりと故郷を後にしました。入隊期間は一月ほどでした。しかし除隊の時、上官が「またすぐ召集があるからそのつもりでいよ」と言ったことを今もはっきりと由男さんは覚えています。その言葉通り、除隊後まもなくして臨時召集令状が来ました。入隊先は、中部第三百三十六部隊地区防衛隊でした。それは、日野警察署の中にありました。臨時教育召集中に一等兵に昇進していた由男さんの任務は、新兵の教育でした。入隊してきた新兵は、これまで軍隊経験のない36歳から42歳までの人達でした。「一応、基礎教育は習っているので教えられるけれど、何にも知らん人、親ほど違う人に何にもできませんわな。困りましたわ。」由男さんのその当時の本音です。新兵たちの日課は、銃も持たずに野外での散兵戦や夜間演習などの訓練でした。その指導に、上官と共に由男さんは当たりました。その訓練も一月ほどで終わり、由男さんたちには自宅待機と言う命令が出ました。小銃と実弾を持って家に帰ることになりました。

「菊の御紋がついてますねん。ボーンとね。どこやし置けんので、床の間に置いときましたわ。」

由男さんはそのまま昭和20年8月15日の終戦を迎え、まもなく銃器を返納しました。終戦になっても何の音沙汰もなかったお兄さんは、昭和19年の10月23日にレイテ島で戦死していました。戦死公報が届いたのは、昭和22年（1947年）の8月10日でした。

## (2) 収集資料の保存・整理

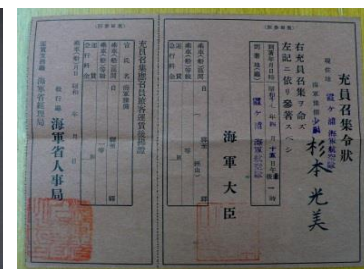
滋賀県では、平成5年より、戦争体験にまつわる資料や戦争当時の滋賀県に関連する資料の収集を行ってきたが、平成26年度は新たに3,222点の資料を収集した。

寄贈資料は、各家庭で長期間置いておかれたものが多く、保存状態もまちまちである。現在の状態をこれからも保ち、次世代へ伝えていくために、適切な保存作業を日々行っている。

### 平成26年度収集資料（一例）



日の丸の寄せ書き  
彦根市 河合良子さん提供



充員召集令状（海軍）  
大阪市 中谷 薫さん提供



奉公袋  
高島市 澤井一也さん提供

### 3 普及啓発事業

#### (1) 平和学習講座

##### 【前期】「学徒出陣」研究－戦時に青春を生きた学生と大学－

○開催日時

平成 26 年（2014 年）5 月 10 日、6 月 14 日、7 月 12 日 各回とも 13:30～15:00

○講座内容および受講者数

第 1 講 戦時下の大学	42 名
第 2 講 「学徒出陣」、その制度と実態	37 名
第 3 講 学徒兵たちの資料を読む	46 名

○事業概要

京都大学 大学文書館の西山 伸教授を講師に迎えて、「『学徒出陣』－戦時に青春を生きた学生と大学－」と題し、全 3 回の連続講座として開講した。講座では、「学徒出陣」の制度や「戦争と大学」の概略、さらには当時の日記や回顧録といった資料から、学徒兵たちの戦争に対する考えや彼らが抱えた葛藤などについて紹介、説明いただいた。



平和学習講座【前期】の様子

##### 【後期】生活の中から戦時を考える

○開催日時

平成 26 年（2014 年）10 月 25 日、11 月 22 日、12 月 20 日 各回とも 14:30～16:00

○講座内容および受講者数

第 1 講 日常の中の戦時動員－婦人活動家を中心に	22 名
第 2 講 戦時への想像力－博物館展示の舞台裏から	28 名
第 3 講 国境の狭間に置かれた人びと －アメリカの日系人・日本人にとっての太平洋戦争	35 名

○事業概要

国立歴史民俗博物館の原山 浩介准教授を講師に迎えて、「生活の中から戦時を考える」と題し、全 3 回の連続講座として開講した。講座では、奥むめおや平塚らいてうといった婦人活動家の視点からの「戦時」や真珠湾攻撃について当時の

日本から視点に加えて、ハワイにいた日本人・日系人からの視点を紹介していただき、様々な視点で歴史をとらえることの大切さ説明いただいた。



平和学習講座【後期】の様子

## (2) 戦争体験を聞く会

### 【平和を祈念する日事業関連】

#### ○開催日時

平成 26 年（2014 年）8 月 13 日、8 月 14 日、8 月 15 日

13, 14 日は 10:30～12:00、15 日は 10:30～11:50 と 13:00～14:00 の 2 回開催

#### ○語り部、内容および参加者数

月日	語り部	内 容	参加者
8 月 13 日	竹村 元伸さん	満州へ、そして故郷に帰るために生き続けた日々	65 名
8 月 14 日	福井 弘一さん	海軍特別年少兵に志願して	47 名
8 月 15 日 (午前)	脇坂 利一さん	潜水艦乗員から水上特攻隊員へ	97 名
8 月 15 日 (午後)	武田 倫江さん	戦争の絵を描くと、「◎(二重マル)」でした	63 名



「戦争体験を聞く会」（「平和を祈念する日事業」関連）



**【戦争遺跡見学フィールドワーク関連】**

- 開催日時 平成 26 年（2014 年）10 月 18 日 11:30～12:30
- 語り部 松村 武温さん
- 内容 幼き日の暮らしと米原への空襲
- 参加者 25 名



「戦争体験を聞く会」（フィールドワーク関連）

**【開館 3 周年記念事業関連】**

- 開催日時 平成 27 年（2015 年）3 月 14 日 13:30～15:30、3 月 15 日 10:00～12:00
- 語り部、内容および参加者数

月日	語り部	内 容	参加者
3 月 14 日	服部 日出男さん	海軍での生活、家族の絆	65 名
3 月 15 日	西川 新五良さん	中国従軍体験記	58 名



「戦争体験を聞く会」（「開館 3 周年記念事業」関連）

○事業概要

平成 26 年度は、8 月の「平和を祈念する日事業」、10 月の「戦争遺跡見学フイ

ールドワーク」、そして3月の「開館3周年記念事業」のプログラムとして、7名の語り部の方を迎えて「戦争体験を聞く会」を開催した。戦時の体験を持つ方が少なくなる中、体験者ご本人から戦地や軍での生活、あるいは子どもの視点から見た当時の様子など、貴重なお話を聞くことができた。

### (3) 戦争遺跡見学フィールドワーク「米原蒸気機関車避難壕の見学」

- 開催日時 平成26年(2014年)10月18日 10:00~12:30
- 参加者 25名
- 事業概要

米原市岩脇まちづくり委員会の藤本伝一さんの案内のもと、米原市岩脇地区の蒸気機関車避難壕の見学会を開催した。またフィールドワークとあわせて、戦時中、米原への空襲を経験された松村武温さんを語り部として迎え、「戦争体験を聞く会」を現地で開催した。



蒸気機関車避難壕見学の様子

### (4) 平和を祈念する日事業「戦争のこと おしえて」

- 開催期間 平成26年(2014年)8月11日~17日
- 参加者 延べ1,645名(開催期間中の来館者)
- 事業概要

8月11日~17日の期間、「平和を祈念する日事業『戦争のこと おしえて』」として、様々なプログラムを開催した。

8月13日~15日にかけては、4人の戦争体験者の方を迎えて「戦争体験を聞く会」を開催した。また終戦の日にあたる15日は、開館時間を20時まで延長し、日本よし笛の会のみなさんによる「平和のしらべコンサート」やボランティアのみなさんの協力のもと、紙芝居・人形劇の上演、戦時食(すいとん)の試食など、1日を通して様々な催しを実施したほか、夜には、子どもたちが平和へのねがいをこめて作ってくれた約450個のあんどんを1階ロビーに並べて、一つひとつにあかりを灯した。



## 平和を祈念する日事業

平成26年 8月11日(月)～17日(日) 滋賀県平和祈念館

終戦から69年。戦争体験者が年々少なくなってきました。  
滋賀県平和祈念館に来館して、戦時のことを学んでいただき、  
平和へのねがいを語りつくことの大切さを感じてください。

<p><b>8月13日(水)</b></p> <p>★10時30分～12時</p> <p>戦争体験を聞く会 竹村元伸氏 (84歳) 『湖州へ、そして故郷に帰るために生き続けた日々』</p> <p>★14時～15時</p> <p>プラネタリウム番組 『戦場に輝くべが』 ～約束の星を見上げて～上映</p> <p>★18時～19時</p> <p>人形劇・紙芝居 平和祈念館ボランティアの会で制作した「人形劇・紙芝居」を上演</p> <p>★19時～20時</p> <p>プラネタリウム番組 『戦場に輝くべが』 ～約束の星を見上げて～上映</p>		<p><b>8月14日(木)</b></p> <p>★10時30分～12時</p> <p>戦争体験を聞く会 福井弘一氏 (84歳) 『海軍特別年少兵に』</p> <p>★14時～15時</p> <p>高橋道氏の講座 『へがのなはし』 ～約束の星を見上げて～上映</p> <p>★18時～19時</p> <p>戦時食 (50食を準備します) 平和祈念館ボランティアの会が「戦時食」を提供します。</p>
<p>★10時30分～11時50分</p> <p>戦争体験を聞く会 脇坂利一氏 (89歳) 『潜水艦乗員から水上特攻隊員へ』</p> <p>★13時～14時</p> <p>戦争体験を聞く会 武田倫江氏 (78歳) 『戦争の絵を描くと、〇(二重マル)でした』</p> <p>★17時20分～18時</p> <p>プラネタリウム番組 『戦場に輝くべが』 ～約束の星を見上げて～上映</p>	<p>★12時</p> <p>熟 袴 館長からの平和メッセージ</p> <p>★14時30分～15時30分</p> <p>公開「平和学習授業」 新作デジタルアニメの上映を含め、日頃平和祈念館が行っている児童生徒向けの講座を公開します。</p> <p>★18時30分～</p> <p>「日本よし笛の会」による ♪平和のしらべ♪ コンサート</p>	<p>★15時30分～18時30分</p> <p>プラネタリウム番組 『戦場に輝くべが』 ～約束の星を見上げて～上映</p> <p>★16時～18時50分</p> <p>「日本よし笛の会」による ♪平和のしらべ♪ コンサート</p> <p>★18時30分～</p> <p>今年も子どもたちが作った 「あんどん」をオーロラ ランプでもします。</p>

会場：滋賀県平和祈念館(東近江市下中野町 4 3 1 番地)  
電話：0749-46-0300 ファックス：0749-46-0350  
メール：heiwai@pref.shiga.jp (お問い合わせは、上記までご連絡下さい。)

## 戦争体験を聞く会 (開催日時順)

### かんバッジ つくります

この円の大きさの紙に好きな絵を描いて、8月15日の18時から19時にカクテルテーブルで持って来て下さい。  
※ひとり一個

この円の大きさの紙に好きな絵を描いて、8月15日の18時から19時にカクテルテーブルで持って来て下さい。  
※ひとり一個

『戦場に輝くべが』～約束の星を見上げて～  
今から70年ほど前、夜空の星が武器になった時代がありました。天文航法で陸上爆撃機「銀河」を導く若き偵察員・和夫と、その元データとなる高度方位層をつくる女学生の久子。はなればなれの2人をつなぐ約束の星・べがは、今でもかわらずに夜空で輝き、私たちに何かを伝えていたと思います。

**紙芝居・人形劇**  
平和や戦争をテーマにした紙芝居や人形劇を制作し、平和祈念館内はもとより県内外で幅広く団体などに上演しています。お子さまご一緒にご家族でご覧いただき、今の生活と比べて、何かを感じ取っていただければ幸いです。

『日本よし笛の会』による ♪ 平和のしらべ ♪ コンサート  
「よし笛」は、湖や川などの水辺で風にそよんでいる植物の「よし」でつくられていて、とても自然な音色を響かせる楽器です。  
「日本よし笛の会」は、「よし笛」の混んだ音色を多くの人に届けたい気持ちになってきたことから、地域の行事やふれあいサロンなどで、ボランティア活動に取り組んでいるグループです。

8月15日には、戦争当時の歌から今の子どもたちにもなじみの深い歌まで、様々な年代の方々から楽しめる曲をきいていただき、平和を願う気持ちを高めていただこうと思っています。

### イベントチラシ



戦争体験を聞く会 (語り部：脇坂 利一さん)



公開平和学習授業



平和のしらべコンサート



平和のあかり点灯

(5) プラネタリウム番組「戦場に輝くベガー約束の星を見上げてー」

- 上映期間 平成 26 年 (2014 年) 8 月 11 日～17 日 (延べ 11 回上映)
- 参加者 延べ 450 名
- 事業概要

8 月 11 日～17 日の期間、平和を祈念する日事業「戦争のこと おしえて」の一環として、プラネタリウム番組「戦場に輝くベガー約束の星を見上げてー」を上映した。番組の内容は、戦時中に夜空に輝く星が戦争に利用されていたことを取り上げたもので、「星が武器としてではなく、希望の光として輝ける日が来ることを祈った若者たちのお話」として構成されたものである。

本番組は、平成 18 年 (2006 年) に山梨県立科学館で制作されたもので、平成 26 年 (2014 年) に制作されたリメイク版では、スクリーンなどの平面に投影できるように、プラネタリウム設備を持たない当館においても上映することが可能となった。

The image shows two promotional posters for the planetarium program. The left poster features a dark blue background with a silhouette of a person looking up at a starry sky. Text includes '滋賀県平和祈念館にプラネタリウムがやってくる!', '戦場に輝くベガ', '約束の星を見上げて', and '星が武器としてではなく、希望の光として輝ける日が来ることを祈っています。' The right poster is more detailed, with a central image of a soldier in a trench. Text includes 'プラネタリウム番組', '戦場に輝くベガ', '約束の星を見上げて', and '平和を祈念する日事業「戦争のことおしえて」関連イベント'. Below the posters is a table of showtimes and a map of the venue.

平成26年 8/11(月)～8/17(日) 各回定員30名(各回投影30分前より、整理券を配布します。)						
	8/11(月)	8/12(火)	8/13(水)	8/14(木)	8/15(金)	8/16(土) 8/17(日)
10:00-11:00	○	○	○	○	○	○
14:00-15:00	○	○	○	○	○	○

上映期間・時刻

★ 8/14(木) 14:00-15:00 11時開演、観覧料500円(小児半額)  
星と科学のお話「ベガのはなしー一瞬の星の輝きが教えてくれるものー」  
高橋 達也さん(ダイニック・アストロパーク天研館)

★ 8/28(土)～9/27(土) 14時開演、2Fロビー  
戦場に輝くベガ実行委員会、ダイニック・アストロパーク天研館 共催/ハルル

イベントチラシ



## (6) 星と科学のお話「ベガのはなし ―織り姫星の輝きが教えてくれるもの」

- 開催日時 平成 26 年（2014 年）8 月 14 日 14:00～15:00
- 参加者 45 名
- 事業概要

8 月 10 日から 17 日の間、当館で上映したプラネタリウム番組「戦場に輝くベガ―約束の星を見上げて」の関連イベントとして、多賀町にあるダイニック・アストロパーク天究館の高橋進館長を講師に迎えて、特別講演を開催した。

講演では、夜空に輝くベガに関する話から七夕の由来や滋賀県にまつわる七夕伝説、さらには、現代において人工衛星が軍事利用されている状況などについてお話しいただいた。



講演会の様子

## (7) 開館 3 周年記念事業

- 開催期間 平成 27 年（2015 年）3 月 14 日、3 月 15 日
- 参加者 延べ 370 名（開催期間中の来館者）
- 事業概要

開館 3 周年を記念して 3 月 14 日、15 日の 2 日間にわたって、「戦争体験を聞く会」や映画の上映会、当館職員による平和学習支援や戦争体験聞き取り調査の活動報告会など様々なプログラムを開催した。また、当館のボランティアによる戦時食の提供や劇の発表、手紙解読や聞き取りの活動報告など日ごろの活動成果を発表いただいた。

**開館から三年**  
をむかえます

滋賀県平和祈念館

テーマづくり 平和へのわがいのもと、戦争体験者協会や館の活動報告、ボランティア活動の発表などを行います。

滋賀県平和祈念館は、平成24年(2012年)3月17日に開館しました。

**3月14日(土曜日)**

映画会 10時～12時  
「命のビザ」  
(外交官杉原千敏の物語)

<昼> 平和祈念館ボランティアによる  
戦時食の提供  
「紙芝居・人形劇グループ」の発表

戦争体験を聞く会  
13時30分～15時30分  
服部日出男さん(昭和2年生まれ)  
「海軍での生活、家族の絆」

会場：滋賀県平和祈念館  
(東近江市下中野町431番地)  
お問い合わせは滋賀県平和祈念館まで。  
電話：0749-46-0300  
ファックス：0749-46-0350  
メール：heiva@pref.shiga.lg.jp

**3月15日(日曜日)**

戦争体験を聞く会 10時～12時  
西川新五良さん(大正12年生まれ)  
「中国従軍体験記」

<昼> 平和祈念館ボランティアによる  
戦時食の提供

活動報告会 13時30分～14時30分  
平和祈念館職員  
「小学校への平和学習支援」  
「戦争体験聞き取り調査」

活動発表会 14時45分～16時  
平和祈念館ボランティア  
「手紙等解読グループ」より  
「聞き取りグループ」より  
「紙芝居・人形劇グループ」より

「戦時をふりかえり、  
平和をねがう作品展」  
開催中(2月1日～3月22日)

**戦争体験を聞く会**

○3月14日(土)13:30～15:30  
服部日出男 さん(昭和2年生まれ 長浜市在住)  
「海軍での生活、家族の絆」  
服部さんは、昭和18年、16歳で海軍航空隊に入隊しました。終戦までの二年間、特攻精神の教育による猛訓練を受け、特に後半の中国の青島海軍航空隊での訓練は、徹底して「死をもって国に報い、死なばとも」に生活でした。一方、お母様は故郷で、服部さんの無事を祈り続けたのです。

○3月15日(日)10:00～12:00  
西川新五良 さん(大正12年生まれ 近江八幡市在住)  
「中国従軍体験記」  
西川さんは昭和19年に現役兵として、敢闘連隊に入隊しました。中国で初年兵教育を受けて陸軍二等兵となり、長江を船で武昌まで行き上陸。そして、嵐部隊の後続部隊として出発、前線へと行軍を続けました。  
最前線の宝慶に到着した後、憲兵教育隊に入り憲兵上等兵を拝命。宝慶憲兵隊に1か月勤務後、長沙の憲兵隊に勤務中、終戦を聞ききました。

**映画会 「命のビザ」** 六千人のユダヤ人を救った日本領事の決断

原作：杉原幸子  
出演：加藤剛 秋吉久美子 紺野美沙子  
時間：115分

あらまし：1940年、ナチスドイツ連が対峙する戦いの北ヨーロッパ、バルト海沿岸のリトアニアにはユダヤ難民が溢れ、望まれていた。彼への脱出の唯一の希望は、日本領事のビザ。日本領事・杉原千敏は本省や周囲の反対をおして、人間の命のために、ビザ発行の決断をする。極限状況の中で、人のあるべき道を実行した勇気ある日本領事のドキュメンタリードラマ。

戦後70年 特別講演  
**「戦後70年に語ること」**  
講師：田原総一朗氏  
日時：平成27年 5月23日(土)14時より  
場所：愛東コミュニティセンター(祈念館となり)

- 名神高速道路「八日市IC」から車で約10分
- JR琵琶湖線(東海道線)彦根駅または近江八幡駅乗り換え、近江鉄道八日市駅からバスで約20分「愛東支所・診療所前」下車すぐ

イベントチラシ



館職員による活動報告会



ボランティアによる人形劇の上演



ボランティアによる戦時食の提供



ボランティア活動発表会

## (8) 館長講座「自分史づくり講座」

- 開催日時 毎月第3水曜日 14:00～15:30
- 参加者 延べ54名
- 事業概要

平成24年(2012年)7月から、自分史づくりをサポートする館長講座「自分史づくり講座」を月1回開催している。講座では、受講者自身が書き進めている自分史の原稿を持参し、館長が文章の表現方法など具体的な助言を行っている。

## (9) 館長講座「自分史のすすめ」

- 開催日時 平成26年(2014年)9月6日 13:30～15:00
- 参加者 18名
- 事業概要

当館では、毎月「自分史づくり講座」を開講しており、自分史の原稿作成に対する具体的なアドバイスをするという形式で講座が進められている。一方で、「自分史づくりに関心があるが、何からどう始めていいかわからない」といったニーズが寄せられていることを受け、館長講座「自分史のすすめ」では、自分史をつくる楽しさをより多くの方に伝えることを目的として開催した。

The poster is titled "館長講座" (Director's Lecture) and "滋賀県平和祈念館" (Shiga Prefecture Peace Memorial Hall). The main title is "「自分史」のすすめ" (Recommendations for My Own History) with the subtitle "あなたの人生の記憶を歴史にする、それはあなたです" (Turning your life's memories into history, that's you). It features a photo of the director, Heiichi Iwano, and text explaining the importance of personal history. It also includes the date and time: "平成26年 9月6日(土) 13時30分～15時30分" and the location: "滋賀県平和祈念館". A map shows the location in Shiga City, and contact information is provided at the bottom.



講座の様子

講座チラシ



## (10) 体験学習イベント「そだてて、たべよう！戦時食」

- 開催日時      1回目：平成26年（2014年） 6月1日（日） 9:45～12:00  
                    2回目：平成26年（2014年）10月12日（日） 9:15～12:00
- 参加者        1回目：14家族41名  
                    2回目：10家族34名
- 協力            平和祈念館ボランティア戦時食グループ
- 事業概要

1回目は、あいとうマーガレットステーション隣接農園でサツマイモの苗植えを行った後、戦時中に食べられた野草を祈念館駐車場付近で観察し、摘み取った野草のしおり作りを行った。また、最後に戦時食ボランティアの方が作った戦時のおやつを試食した。2回目は、サツマイモを収穫し、採れたサツマイモで戦時食を作るワークショップを行った。



サツマイモの苗植え



サツマイモの収穫



しおり作り



戦時食作り

## (11) 夏休みミュージアムスクール「へいわの学校☆あかり」

- 開催日時 平成 26 年 (2014 年) 7 月 23 日、27 日、8 月 2 日、3 日、5 日、9 日の 6 日間
- 参加者 延べ 91 名
- 事業概要

### ①「館長と創造カード (カルタ) で遊ぼう」(7 月 23 日)

創造カードは絵の描かれた 2 枚のカードの共通点を見つけ出し、それを説明するゲームのことで、知恵はもちろん、ひらめきや柔軟な発想が試され、物事を一方向だけでなく、幅広く多角的に見ることができるようにと実施した。(参加者 3 名)



創造カード (カルタ) 遊びの様子



創造カード (カルタ)

### ②「戦時食 (すいとん) を作って食べよう」(7 月 27 日)

平和祈念館ボランティア戦時食グループの協力のもと、戦時中に食べられたすいとんを作り試食するワークショップを実施した。(参加者 13 名)



調理体験 (ワークショップ) の様子



戦時食ボランティアによる説明を聞く参加者



③「米原、蒸気機関車避難壕を見学しよう」(8月2日)

県内に残る戦争遺跡にふれる事業として、岩脇まちづくり委員会の藤本伝一さんの案内で米原市岩脇の蒸気機関車避難壕を見学した。(参加者 15名)



避難壕見学



岩脇まちづくり資料館見学

④「戦争体験者お話し会～大阪から来た女の子～」(8月3日)

戦時中、大阪から滋賀への集団学童疎開を経験された池田喬子さんを語り部に迎え 当時の体験を聞く会を実施した。(参加者 21名)



戦争体験者お話し会の様子

⑤「戦争体験者お話し会～8月6日の思い出～」(8月5日)

広島で原子爆弾投下後すぐに現地に入り救助活動をされた喜多康巳さんを語り部に迎えて当時の体験を聞く会を実施した。(参加者 24名)



戦争体験者お話し会の様子

⑥「平和の願いをこめて アロマキャンドルをつくろう」(8月9日)

当館で平和学習を行った後、菜の花館で平和への思いを込めてアロマキャンドルを作るあいとうエコプラザ菜の花館との協働事業を実施した。(参加者 15名)



アロマキャンドル作り



菜の花館見学の様子

(12) 平和を願う子どもピースメッセージコンクール

○展示期間 平成 26 年 (2014 年) 11 月 1 日～平成 27 年 (2015 年) 1 月 31 日

○表彰式 平成 26 年 (2014 年) 11 月 1 日

○事業概要

次世代を担う子どもたちが、戦争と平和をテーマにした絵を描くことにより、戦争の悲惨さや平和の尊さを考えるきっかけとするとともに、子どもたちが描く絵画を通して、広く県民に平和への思いを伝えることを目的として実施した。今回、県内の小学校 5 年生から中学生を対象に作品を募集したところ、県内小・中・特別支援学校 14 校から 233 作品の応募があった。

○入賞者

各 賞	学校名	学 年	氏 名
ピース賞 (小学校)	彦根市立城南小学校	第 6 学年	森 陽茉莉
ピース賞 (中学校)	東近江市立聖徳中学校	第 1 学年	伊藤 優月
ハート賞 (中学校)	近江八幡市立八幡西中学校	第 2 学年	浅田 陽菜
ハート賞 (中学校)	湖南市立石部中学校	第 2 学年	吉田 愛
オリーブ賞 (中学校)	草津市立新堂中学校	第 3 学年	村田 雄偉
オリーブ賞 (中学校)	滋賀県立水口東中学校	第 3 学年	佐井 愛佳

※賞について

ピース賞・・・滋賀県平和祈念館の理念と合致していることや祈念館の事業を推進するうえで効果的な作品

ハート賞・・・制作者の平和への思いを画面に意欲的に工夫し、効果的に表現している作品

オリーブ賞・・・平和への思いを自分らしい発想や構想で表現し、線画や色使いの技能が優れている作品

各 賞	作 品	制作者の思い
ピース賞 (小学校)		<p>私は、平和＝笑顔だと思ったから、この町も平和になってほしいと思って、明るい絵を描きました。</p>
ピース賞 (中学校)		<p>地球の平和を大切にしてほしいという願いを込めて描きました。</p>
ハート賞 (小学校)		<p>戦争は昔のことだからといって、知らず知らずのうちに目をそらしてはいませんか。今でも世界中で戦争がくり返されています。見つめ直してください。</p>
ハート賞 (中学校)		<p>武器が花にうもれて、戦争や戦いがなくなる様子を表現しました。花が美しく見えるように描きました。</p>
オリーブ賞 (中学校)		<p>世界に平和を届けるために白いハトがはばたいている様子を絵に表わしました。</p>
オリーブ賞 (中学校)		<p>平和の象徴とされる鳩をメインに、世界中が平和になるように、また、鳩がくわえている国旗は、それぞれの国が協力しあって争いがなくなるよう願って描きました。</p>



## 4 平和学習支援事業

### (1) 来館学習の支援

#### ○来館学校数 実績

区分	総数	小学校	中学校	高等学校
学校数	46校	40校	5校	1校
児童・生徒数	2,281人	1,960人	258人	63人

#### ○主な方法

- ・ 展示見学  
(学校が作成するワークシートによる調べ学習)
- ・ 館の職員によるミニ講座
- ・ 戦争体験者によるお話会
- ・ 戦時食体験



来館学習での展示見学

### (2) 出前授業

#### ○出前授業実施校 実績

区分	総数	小学校	中学校	高等学校
学校数	59校	38校	14校	7校
児童・生徒数	6,251人	3,490人	1,632人	1,129人

#### ○主な方法

- ・ 実物や写真・動画の提示
- ・ 体験談の紹介
- ・ 資料観察



出前授業の様子

### (3) 地域への平和学習支援

戦後 70 年近くが経過し、戦争を体験していない大人が増え、「子どもたち」とともに「大人」への語り継ぎが重要になることを踏まえて、地域の自治会などの団体等からの要望に応じた平和学習支援として、地域への出前講座を実施した。平成 26 年度においては、29 団体 1,537 人の利用があった。

#### ○主な内容

- ・「戦争と生活の変化」
- ・「子どもたちと戦争」
- ・「滋賀県への空襲」



地域への出前講座の様子

### (4) 資料の貸出による平和学習支援

滋賀県平和祈念館では、学校や地域への平和学習を支援するために、実際に手にとって触れるハンズオン資料やパネル、アニメ画入りの戦時体験映像の貸出を行っている。平成 26 年度は、新たに一般貸出向けの戦争体験者証言映像を 3 作品（6 人の戦争体験証言）制作し、貸出を開始した。貸出の傾向としては、学校向けは授業で使うハンズオン資料や視聴覚資料の貸出が多く、一般向けは特に夏の時期にパネルの貸出が集中する。

#### ○資料貸出の実績

##### ①学校への貸出および活用児童・生徒数

区分	総数	小学校	中学校	高等学校
学校数	120 校	64 校	54 校	2 校
児童・生徒数	1,332 人	702 人	492 人	138 人

##### ②地域への貸出 41 件

#### ○貸出資料の種類

##### ①ハンズオン資料

千人針、臨時召集令状（複製）、出征たすき、防空頭巾、配給切符、慰問袋、鉄かぶと、ゲートル、国防婦人会たすき、いなご採り袋、雑誌「週刊少国民」（ラミネート版）、カルタ「戦ふ日本カルタ」（ラミネート版）、双六「大東亜共栄圏めぐり」（ラミネート版）

##### ②パネル

Aセット（16 枚組）、Bセット（20 枚組）

Cセット（16 枚組）＜滋賀で学ぶ戦争の記録＞、写真・ポスター類（64 枚）

##### ③小学校国語科読み物教材「ひとつの花」対応セット